

マンガの聖地としまの皆さん /

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第7回

「これも学習マンガだ!」を主催する一般社団法人マンガナイトの連載です。



ジャンル: 芸術

『ブルーピリオド』

著者: 山口つばさ

出版社: 講談社



企画監修: 山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成: 松尾奈々絵(マンガナイト理事)

ほとんどの人が学校で美術の授業を受けてきたはずですが、「美術鑑賞」「アート鑑賞」といふとなんだかハードルを高く感じませんか? そもそも「いい絵」とは何なのか。どうやってアートをみれば良いのか。「自分には美術を楽しむ感性が備わっていないだから、今更楽しむって言ったって…」と思う人もいるかもしれません。そんな方におすすみたいのが、山口つばささんの『ブルーピリオド』です。

主人公は高校2年生の矢口八虎。成績上位で人付き合いもよく、いわゆる「カースト上位」と言われる存在ですが、毎日の生活に手応えのなさを感じていました。そんな彼ですが、ある一枚の絵に心を奪われ、学校の美術の授業を通じて絵を描くことの面白さを覚えます。そして「好きなことに人生の一番大きなウエイトを置くのって普通のことじゃないでしょうか?」という美術の佐伯先生の後押しもあり、東京大学よりも入学するのが難しいとも言わ

れる東京藝術大学を目指し始めます。

美大の受験ってそもそも何をやるのか、どんな画材を使ってどのようなことを意識して絵を描くのか、「上手い」と言われる絵は何か良いのかなど、初心者である八虎と一緒に「美術とは何か」を考えられる作品です。

最初は真面目に美術の授業を受けていなかった八虎に対して、偏見なく美術の世界へ導いてくれた佐伯先生、時には厳しいアドバイスをしながらも適切な指導をする予備校の大葉先生など八虎を取り巻く大人たちの格好良さもこの作品の魅力です。八虎は決して天才ではありません。自分自身を見つめ、何度も壁にぶつかりながらも大学合格に向けて努力を重ねていきます。どうすれば合格するのか正解が見えない中で、周りのアドバイスをしっかりと受け入れながら懸命に取り組みむ八虎の姿に感銘を受ける人もきっと多いでしょう。

これも学習マンガだ! Manga Edutainment

世界発見プロジェクト

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!」は、新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表し、国内外の読者に作品を届ける事業です。マンガの持つ「楽しさ」「分かりやすさ」「共感性」に着目し、社会をより良いものにしていきます。

マンガナイト
<http://gakushumanga.jp/>

